事業所名　LOHAS:KOTI

作成日 ： 平成 28 年 2 月 10 日

目 標 達 成 計 画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況（任意）
1	49	日常的な外出支援と個別での外出の充実	利用者の状況や希望に応じた個別の外出支援を行っていく	地域の公園等に出かける事や、個々の希望に応じた行きたい場所に外出出来るように支援する。	12 か月	
2	21	認知症の進行による、利用者同士のトラブルの防止	職員が傍で見守る事で、お互いが安心して過ごせる環境作りを援助する。	双方が傷つかないような、声掛け対応を行いながら座席の検討や個々でのレク等を充実させていく。また、職員が得意、不得意を把握しながら活躍できる場所を作り表情や仕草を読み取る。	12 か月	
3	13	職員同士のコミュニケーションを密に行い、報･連･相･を行い業務の円滑を図る	職員間の言葉かけと同時に、伝達や、報告、相談が行える。	あいさつ等職員同士がコミュニケーションをとる雰囲気作りに努める。また、性格にもよるが、業務を円滑に回すという点を踏まえ、声掛けにも注意していく。	12 か月	
4	35	火災訓練と同時に、地震災害を想定し地震時の訓練を行う。	地震訓練の実施、迅速に動けるように訓練する。	玄関以外での避難経路の確認と実施。また、発生時に必要な措置がとれるようにマニュアル関係の見直しを行う。	12 か月	
5					か月	

注1）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。
注2）項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。
注3）外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。
注4）目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

事業所名　LOHAS･KOTI
作成日　：　　平成 28 年 2 月 10 日

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】

実施段階		取り組んだ内容（↓該当するものすべてに○印）	
1	サービス評価の事前準備	○	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		○	②利用者へサービス評価について説明した
		○	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		○	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
			⑤その他（　　）
2	自己評価の実施	○	①自己評価を職員全員が実施した
		○	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		○	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		○	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
			⑤その他（　　）
3	外部評価（訪問調査当日）	○	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		○	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		○	③対話から、事業所の努力･工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
			④その他（　　）
4	評価結果（自己評価、外部評価）の公開	○	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		○	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		○	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		○	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
			⑤その他（　　）
5	サービス評価の活用	○	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		○	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した（する）
		○	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した（する）
		○	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ（取り組む）
			⑤その他（　　）